

わたしたちの暮らしは

地球上で一つにつながり合っています。

食べ物や口にするとき、洋服を着るとき

買い物をすると身の回りのモノがどこから来て

誰がつくったものなのか。

地球上に生きる多様な命が調和し分かち合い、

ともに輝き穏やかな未来をゆっくりと育むために。

買うものを「選ぶ」という一人ひとりの

小さな行動から、未来が始まると信じて。

もう一つの選択肢として“フェアトレード”を。

地域と世界を、そして今と未来をつなぐ

“地球とのフェアトレード”



NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)より

国際フェアトレードタウンなごや宣言

平成27年9月19日

フェアトレードは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、生産者や労働者の生活改善と自立を目指していくもので、その理念は、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題解決に貢献するとともに、わたしたちの暮らしを見つめ直し、交流の促進や賑わいの創出にもつながるものと考えます。

フェアトレードタウンとなった名古屋市では、市民一人ひとりの買い物を通じて、“地球とのフェアトレード”により、まちぐるみでフェアトレードを推進し、地域の絆を深めます。

名古屋市と名古屋市民は、フェアトレードの理念を支持するとともに、市民への理解がより広がるように互いに協力していくことをここに宣言します。

「みんなでやろみゃあ！フェアトレード！」

名古屋市長 河村たかし
フェアトレード名古屋
ネットワーク(FTNN)
代表 原田さとみ



発行/名古屋市環境局 環境企画部 環境企画課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL:052-972-2698
E-mail: a2662-01@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

協力/NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)

名古屋市公式ウェブサイト
<http://www.city.nagoya.jp/>で
フェアトレード サイト内 検索



FAIR TRADE TOWN NAGOYA

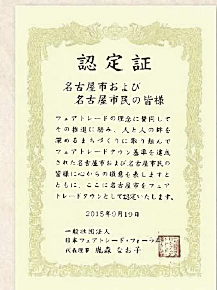


みんなでやろみゃあ！ 地球とのフェアトレード

2015年9月、名古屋市が日本で2番目の

「フェアトレードタウン」に認定されました。

フェアトレードとは何か、フェアトレードタウンとはどんなものかを知って、選んで、参加してみませんか！



SDGs(持続可能な開発目標)とは、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展する」にはどうしたら良いだろうか？と国連で考えて決めた17の目標のこと。身近な買い物を通じて、生産者や労働者の生活改善と自立を目指すフェアトレードの取組みは、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題解決に貢献するもので、SDGsが掲げる17の目標のほぼ全てに関係しています。

フェアトレードとSDGs



これまでの貿易における問題

フェアトレードで問題改善へ

わたしたちが原料や製品を安く大量に手に入れることが、開発途上国で多くの人が低賃金で働き、貧困に苦しむ一因となっています。また、生産性優先のため農業の大量使用による土壌汚染や健康被害、森林伐採による環境破壊も引き起こしています。フェアトレードは、身近な買い物を通じてそうした問題を解決する仕組みです。

フェアトレードの普及は世界を幸せにする

フェアトレードタウン 6つのポイント

みんなで作ろみゃあ! 地球とのフェアトレード

想像しよう 暮らしとの関わり

開発途上国と公平に取引することを指して「フェアトレード」という言葉を使うのが一般的ですが、名古屋では、その意義を広くエシカルな理念でとらえ、地域の特産品や、多様な命にとって大切な水や森などの自然に対してもフェアに取引することで、持続可能な未来を創る「地球とのフェアトレード運動」を進めています。わたしたちの暮らしとどのようにつながっているのか想像してみましょう。また、フェアトレードは、普段の買い物に取り入れてこそ意義のあること。どんな商品を選べばいいか、どこに行けば買えるのかを知って、広めましょう。

※エシカル 人や社会、地球にやさしい責任ある倫理的行動。

選ぼう フェアトレード商品

開発途上国から正当な価格で取引されたコーヒー、チョコレート、スパイスの他に、衣類やアクセサリなどがあります。フェアトレードタウンとなった名古屋市内では約360の店で取り扱われています。また、国内で作られた「地元の野菜」「工芸品」など地域のめぐみもその一例です。



マップはフェアトレード名古屋ネットワーク(FTNN)のウェブサイト <http://www.ftnn.net> で閲覧可能

理解しよう フェアトレード関連の講座やイベント

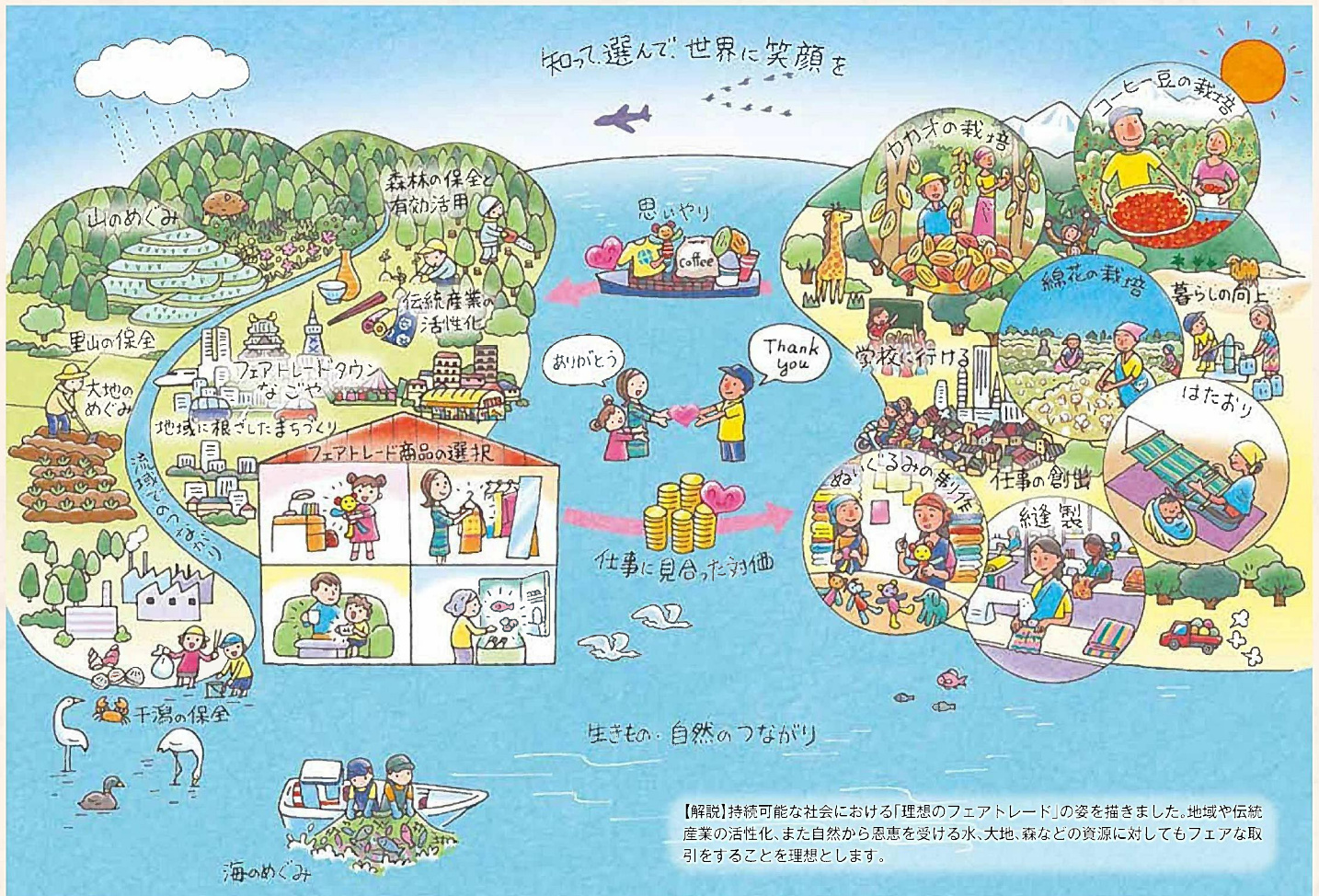
毎年9月に開催される「環境デーなごや」中央行事での「フェアトレードひろば」、5月に行われるイベント「世界フェアトレード・デーなごや」、フェアトレードに関する講座「フェアトレードタウンなごやのススめ」などに参加して、理解を深めましょう。



久屋大通公園で行われる「環境デーなごや」中央行事「フェアトレードひろば」



フェアトレードをテーマにした講座「フェアトレードタウンなごやのススめ」



【解説】持続可能な社会における「理想のフェアトレード」の姿を描きました。地域や伝統産業の活性化、また自然から恩恵を受ける水、大地、森などの資源に対してもフェアな取引をすることを理想とします。

Choose Fair Trade

どうやって商品を探せばいいでしょうか?

▶主なフェアトレード商品

フェアトレード商品には、コーヒー、チョコレート、ボール、コットン製品などがあります。



参考: フェアトレード・ラベル・ジャパンWEBサイト
フェアトレードの理念を生かして、地域の伝統継承や、地域貢献となる地域内・国内フェアトレードの品々も応援しています。

▶このマークが目印

商品の中には、世界共通で使用されているラベル(下)を表記しているものがあります。その他、国内外の生産者や産地と直接取引して仕入れたフェアトレード商品を扱っているところもあり、ラベルのないフェアトレード商品もたくさんあります。スーパーなどではラベルの有無を参考に、フェアトレード商品を中心に扱う店なら店員さんに尋ねてみましょう。



国産フェアトレード
認証ラベル



WFTOフェアトレード
保証ラベル

▶フェアトレードタウンなごや応援ロゴマーク

「フェアトレードタウンなごや応援ロゴマーク」は、名古屋のフェアトレードタウン活動の盛り上げとフェアトレードの理念の普及を目的に作成されたものです。図案は、名古屋の地でフェアトレードの精神が開花することを表現しています。

このロゴマークはフェアトレードタウンなごやを応援する商品や景品、広告などに広く使用することができます。



名古屋の環境とフェアトレードのつながり

- 1999年 藤前干潟の埋立計画中止
ごみ非常事態宣言 発表
- 2005年 愛・地球博(愛知万博) 開催
- 2010年 生物多様性条約第10回締約国会議
(COP10) 開催
- 2014年 ESDユネスコ世界会議 開催
- 2015年 フェアトレードタウン名古屋 誕生

ここ名古屋では、ごみ問題からはじまり、国際的な会議やイベントの開催などを経て、世界とのつながりや環境保全活動への意識が高まり、フェアトレードタウン名古屋が誕生しました。「普段の買い物でみんなの暮らしや自然を守る」ために、行動の輪を広げましょう!